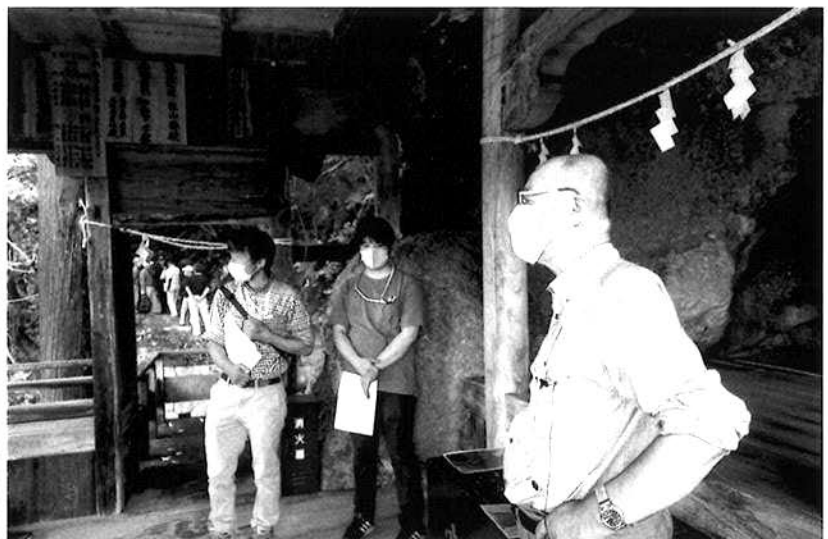


T A K U M I

## 令和2元年度・第28回総会 書面決議形式で実施 新型コロナウイルス感染対策を 考えながらの活動を模索

信州名匠会(土本俊和会長)は6月25日、令和2年度(第28回)通常総会を、書面評決形式で実施した。書面評決で58名の投票がされ、令和元年度事業・会計報告、令和2年度事業計画・予算が承認された。

書面決議案冒頭の土本会長(信州大学教授)挨拶で、「新型コロナウイルス感染拡大を警戒しなければならない状況が続く中、信州名匠会研修会等の事業の内容・やり方を工夫しながら進め、匠の技の継承と発展の為、会員みんなの知恵を絞って会の活動を行っていききたい」と述べられた。



レインラインで説明する相原文哉先生(中央)と土本会長(右) ブランド薬師の社殿で説明する相原文哉先生(右)と土本会長(左)

## 令和2年度 信州名匠会 年間スケジュール

A 会員集会・委員会 B 学習・見学・実習 C 交流 カッコ内は担当委員会

### 令和2年

- 6月25日(木) 第28回通常総会(総務)
- 7月16日(木) 第1回研修会A・C(総務・事業技術)
- 8月26日(水) 親睦スポーツ大会C(会員)
- 9月19日(土) 第2回研修会B(事業技術)
- 10月17日(土) 研修旅行B・C(事業技術、協力:総務・会員)
- 11月21日(土) 第3回研修会A・C(総務・会員)
- 12月16日(水) 第4回研修会B(事業技術)

### 令和3年

- 1月20日(水) 新年会C(会員)
- 2月17日(水) 第5回研修会A・B(総務・事業技術)
- 3月17日(水) 第6回研修会B(事業技術)
- 4月17日(土) 第7回研修会「お花見」C(会員)
- 5月22日(土) 第8回研修会A・C(総務・会員)
- 6月24日(木) 令和3年度通常総会(総務)

研修会 場所：基本会場(株)宮本忠長建築設計事務所 第2会場(株)降幡建築設計事務所  
時間：18:30～20:30 委員会の企画内容により異なる場合があります  
※ 研修内容・場所・日時については決定次第順次お知らせいたします。

# 三ツ星1名、二十八ツ星2名など28名の新認定者が誕生

## ～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設された。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。今年は新規認定者28名（認定者総数63名）が誕生し、通常総会において認定証を授与された。貴重な研さんのお場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっている。

### ◆「スリースター制度」令和元年度新規認定者

（令和元年6月現在、敬称略。紙幅の関係で新規認定者のみ掲載いたします）

☆☆☆三十星1名☆☆☆  
坂田 守夫/坂田工業(株)

☆☆☆二十八ツ星2名☆☆☆  
堀 誠/建築工房アカシヤ  
西澤 嘉雄/株N建築設計事務所

☆☆☆二十ツ星1名☆☆☆  
西澤 広智/(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆十九ツ星1名☆☆☆  
中村 光敬/(有)中村木工所

☆☆☆十七ツ星3名☆☆☆  
犬飼 栄治/(株)シナノ大理石  
白石 大陸/サンコー特機(株)  
吉田 雅彦/(有)スタジオスペースツ

☆☆☆十四ツ星2名☆☆☆  
高梨 友秀/(有)高梨建設  
増田 幸雄/匠建設(株)

☆☆☆十一ツ星1名☆☆☆  
海野 政也/(有)海野鉄筋工業所

☆☆☆十ツ星1名☆☆☆  
宮澤 郁夫/宮澤建築

☆☆☆九ツ星3名☆☆☆  
内田 保/朝陽工芸(有)  
落合 一視/落合コンサルタント  
米田 満/(株)山二

☆☆☆七ツ星1名☆☆☆  
黒澤 忠/クロサワメタル(株)

☆☆☆六ツ星1名☆☆☆  
荒井 孝明/(株)本久

☆☆☆五ツ星1名☆☆☆  
宮本 夏樹/(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆四ツ星3名☆☆☆  
山崎 慎一郎/(株)山崎屋木工製作所  
祢津 吉通/(株)ミツルヤ製作所  
北澤 徹/(有)北澤ステンレス工業

☆☆☆三ツ星1名☆☆☆  
中村 研哉/(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆二ツ星3名☆☆☆  
金田 勝良/(有)金田工業所  
堀内 太一/(有)泉秀園  
中沢 清光/(有)エヌ・テック

☆☆☆一ツ星3名☆☆☆  
本澤 篤/(株)マナテック  
齊藤 昌彦/(株)角藤 長野本部  
本荘 奎菜/(株)宮本忠長建築設計事務所

## 令和元年度 事業報告 (人数は参加者)

### 令和元年

- 6月26日(水) 第27回通常総会・講演会・懇親会 46名  
[社寺建築の彫刻・匠の技と心]相原文哉氏  
「たくみ」No.44 夏号発行
- 7月31日(木) 第1回研修会 土本先生のお話 23名  
「世界の棟持柱を追う調査研究」
- 8月24日(土) 第2回研修会「県立武道館」現場見学会 加藤健太郎氏 31名
- 9月10日(火) 親睦ゴルフ大会 長野カントリークラブ 15名
- 9月19日(木) 令和元年度 第1回 理事会
- 11月16日(土) 第3回研修会 会員の職場拝見「(有)中村木工所」中村光敬氏 17名
- 12月19日(木) 第4回研修会 リレートーク「大工技術の継承」堀誠氏 31名
- 12月22日(土) 第4回研修会「松田家住宅齋館」見学会 西澤嘉雄氏 29名

### 令和2年

- 1月16日(木) 新年会 ホテル犀北館 34名
- 1月16日(木) 「たくみ」No.45 新春号発行
- 2月19日(水) 第5回研修会 リレートーク「曳家」金田勝良氏 27名  
以降の研修会・研修旅行は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

## 平成30年度 会計報告書

自：平成30年6月1日／至：令和元年5月31日

## 会員の動向 (平成30年6月～令和元年6月。敬称略)

### ■担当者の変更 賛助会員■

征矢野建材(株) 前任) 星川 嘉諒 新任) 岩垂 智昭  
 (株)岩野商会 前任) 鳥羽 秀和 新任) 小山 昌彦  
 (株)清蘭堂 前任) 小林 清英 新任) 小林 誠治

### ■退会 個人会員■

笠原 晃佑／(株)二見屋  
 藤田 勇／藤田建築

## 令和元年度「新年会」

令和2年1月16日 会場：ホテル犀北館 参加者：34名

信州名匠会の新年会は1月16日、長野市のホテル犀北館で行われた。新年初顔合わせとなる会には、土本俊和会長をはじめ34名が参加し親睦を楽しんだ。また、会員の呼びかけにより、渾身の木遣りが披露され、場を盛り上げた。

土本会長はあいさつで2019年10月に発生した台風19号災害に触れ「全国各地から多くの方が遠方からボランティアに駆け付けてくれた。私たちも、全国の人々が苦しんでいるときには動かなければ」と話し、会員の皆さんの協力を求めた。



## 懇親ゴルフコンペ 坂田 守夫氏が初優勝

スポーツを通じ会員同士の親睦はかる恒例の懇親ゴルフコンペが、長野カントリークラブで行われた。連日の残暑の中、晴天に恵まれ、かなり暑い日となったが、仕事を忘れ和気あいあいゴルフを楽しんだ。

今回は、13名が参加、超ベテラン、坂田専務理事が見事優勝した。

プレー後のパーティーでは、坂田専務理事から各賞が渡され、ベテラン・若手プレーを振り返りながら親睦を深めるひとときとなった。

参加者は次の通り(順不同、敬称略)

左右田光／(株)インテック左右田、坂田守夫／坂田工業(株)、齊藤昌彦／(株)角藤、増田幸雄／匠建設(株)、高橋志行／(株)むね工房、荒井孝明／(株)本久、小坂浩一／小坂建設(株)、五明良平／(株)五明、落合一視／落合コンサルタント、本澤篤／(株)マナテック、西澤孝之／(株)マナテック、黒澤忠／クロサワメタル(株)、西澤広智／(株)宮本忠長建築設計事務所



## 降幡廣信氏 第27回信毎賞を受賞

当会副会長で降幡建築設計事務所会長の降幡廣信氏(91。安曇野市)は6月、第27回信毎賞を受賞した。建築界に「古民家再生」の概念を確立し、環境と人と建築の調和に寄与した功績が、高く評価された。降幡氏が新たに命を吹き込んだ古民家は、商業利用の建築を含め500軒余に上る。降幡氏は「古い物でもできるだけ生かしてきた。清潔さと静けさと長い歴史を背景にした、奥ゆかしさを持つ美しい日本の生活文化に、さらに貢献していきたい」と、今も第一線で活動している。



## 西宮登喜男氏 信州の名工に

長野県は11月、卓越した技能を有し、県内産業の発展に顕著な功績等があった18名を「信州の名工」(卓越技能者知事表彰)として決定。「かわらぶき工」の部門で当会会員の西宮登喜男氏(株式会社綿内瓦工業、長野市)を表彰した。西宮氏は、一般住宅や社寺仏閣の瓦屋根施工のほか、最近では歴史的建築物の復元工事を手がけている。モットーは「技への挑戦」。「瓦職人としていい仕事をするには、腕のいい大工と組まなければならない。下地ですべて決まる。そういう職人と経験を重ねることが大事」とし、若手職人と技術を磨き続けている。



## 信州名匠会顧問 相原文哉氏 ご逝去

信州名匠会顧問 相原文哉氏が11月1日、ご逝去されました。享年74。先生は、元長野工業今経論で、須坂市文化審議委員、長野市伝統環境保存審議会会長等、多くの公職を務められました。古社寺や仏像に造詣が深く、『善光寺匠と技の世界』『信州の古仏』をはじめ、多くの著書を残されました。

令和元年度信州名匠会通常総会の基調講演で、「社寺建築の彫刻・匠の技と心」と題して講演いただきました。先生が手描きされたイラストがちりばめられた独特の資料を用いて、古社寺・彫刻についてたいへん分かりやすく興味深いお話をしていただきました。

これを縁に信州名匠会の顧問に就任いただき、令和2年度には、7月(塩田平)と10月(ブランド薬師)に立て続けに研修会の講師をお受けいただき、精力的にご指導いただきました。

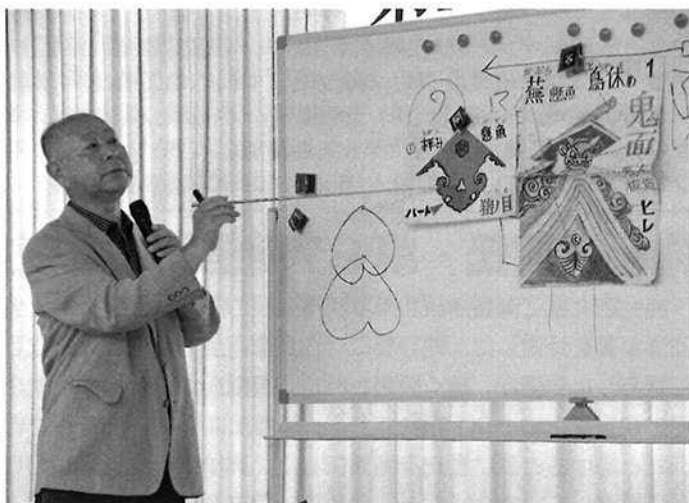
これから益々先生から社寺建築や仏像等について様々なお話を聞けることが出来ると楽しみに思っていた矢先に、先生が関山神社に関する講演会の準備中に倒れられ急逝されたとお聞きし愕然といたしました。本当に信じられない思いです。最後の瞬間まで、古社寺や彫刻、仏像等について研究し多くの人々にそれを伝え続けた相原先生に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



## 哀悼文 相原先生のご逝去を悼む

信州名匠会 会長 土本俊和

神仏が習合している姿の建築と彫刻に関する造詣が深く、その観点から建築と彫刻が担ってきた本来の意味を読み取るということで、独創的な観点を提示されてこられた先生が、お仕事中に倒れられたとお聞きしました。7月18日の生島足島神社の見学会、そして、9月26日のブランド薬師の見学会、ともに素晴らしい資料と解説を先生からいただいたばかりでした。私たちは、これから先生のお話をたくさん伺えると思ひ、次を期待し、これからを楽しみにしていたところでした。教育と研究の双方から地域の建築文化の向上のために力を尽くされてこられた先生を失ったということの意味を、あらためて思い直します。先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。



# 定例研修会●Report

(令和元年12月～令和2年9月)

## 令和元年度 第4回研修会 リレートーク【大工技術の継承】

令和元年12月19日(木) 宮本忠長建築設計事務所  
プレゼンター: 建築工房アカシヤ 堀誠氏  
参加者: 31名

### 仕事は手間をかけて、慌てず、丁寧に

今回のリレートークでは、建築大工として活躍する建築工房アカシヤの堀誠氏を講師に迎え、堀氏の生い立ちや大工修行時代に学んだこと、近作について語っていただいた。

父親が大工だったこともあり、自然と建築大工の道に進んだという堀氏。修行時代には二人の師と出会った。一人目の師匠には木組について深く教わり、二人目の師匠には「手間がかかってもきちっとやれ」、「仕事は慌ててはいけない」という、今に至るまで大切にしている教えを受けたという。

近作として箱清水公民館と信濃町の東京大学生産技術研究施設を紹介。堀氏はこのような仕事をする一方で、最近は大工技術を活かした仕事の依頼が減少傾向にあり、若い世代に技術を継承する機会が減っていることに言及。工事中の写真を見て、金物に頼らない堀氏の丁寧な仕事技に参加者から感嘆の声が上がった。

最後には仕口や継ぎ手のモックアップを用いて解説し、大工技術の面白さ、そして大工技術を未来へ継承していくことの大切さを参加者に伝えた。



堀誠氏



映像を用いて説明する堀誠氏



丸太組の組み方をモックアップを用いて説明

## 令和元年度 第5回研修会 リレートーク【曳家】

令和2年2月20日(木) 宮本忠長建築設計事務所  
プレゼンター: 株式会社 金田工業所 金田勝良氏  
参加者: 27名

### 建物の気持ちを心で聞くために「いい耳と目」を持つ



映像を用いて説明する金田氏

祖父の代から続く曳家職人の三代目である金田工業所の金田勝良氏を講師に迎え、曳家仕事について語っていただいた。

金田氏は、今まで曳家を行った建物を、実際の工事映像を見せながら解説。建物を動かすときに油圧や電動ウィンチでは建物の動きが伝わってこないため、手でウィンチを巻くこだわりや、建物を水平に保つため地盤がどの程度沈むかは経験で予測するといった匠ならではの話を披露した。金田氏の職人技と建物が動く迫力ある映像に参加者からは驚きの声が上がった。

最後に参加者からの「今まで失敗したことはありますか。」という質問には「一度でも失敗したらこの仕事は続けられない」と答える金田氏。「お施主さんの要望だけでなく、建物の気持ちも心で聞くため、職人はいい耳と目を持たねばならない」、「1から10の工程を順番どおりしっかり行うことが事故を起こさない秘訣」と、曳家仕事に対する心構えを話し、リレートークを締めくくった。



明治期の茅葺きの民家を曳家した「かてんばばショップ小布施店」

## 令和2年度 第1回研修会 【塩田平 レイラインがつなぐ 『太陽と大地の聖地』見学会】

令和2年7月18日

講師：信州名匠会顧問 相原文哉先生

参加者：23名

### レイラインは地域の発展や豊作を祈る場

7月18日、今年度初の研修会を上田市で開催した。テーマは「日本遺産・塩田平レイラインをたどる『太陽と大地の聖地』」。レイラインについて独自に研究する同会顧問の相原文哉先生を案内役に、生島足島神社や前山寺をはじめとする寺社や周辺に点在する文化財を見学した。

塩田平レイラインは、夏至の日の出と冬至の日没を直線で結んだもので、東の烏帽子岳と西の大明神岳の山頂を結んだ直線上に、寺社や文化財が観測点の役割として並んでいるとされ、今年7月に文化庁から日本遺産に認定された。

生島足島神社は、西の大鳥居に真っすぐ延びる参道の上を冬至の日が沈み、その延長線上には泥宮、皇子塚古墳、野倉の道祖神が点在。「古来、レイラインを意識した建設がされてきたことを裏づけている」と相原先生は話す。また、生島足島神社と烏帽子岳を直線で結んだ先にある泥宮では、本殿と拜殿の向きに注目。「生島足島神社と泥宮は向き合っている」とし、その歴史的背景を記した資料を説明したほか、「古代においてレイラインが地域発展や収穫物の豊作を祈る場で、暦となる場所でもあった」とした。

この日は参加者全員にインカムを配布し、相原先生がマイクを通して話す解説を、参加者同士の距離を保ちながら個別に聞き取ることができるよう工夫するなど、新型コロナウイルス対策を徹底して行われた。



野倉の道祖神の前で説明する相原先生

や、同会顧問の相原文哉先生が講師を務め、「ブランド薬師と十三仏」をテーマに崖の上に建つ八蘆神社やその道中に並ぶ13体の仏像の歴史などを見学した。

ブランド薬師（八蘆神社）は、古来より山岳信仰の霊場とされた長野市浅川の薬山山頂直下にある凝灰岩でできた断崖絶壁に、特殊な「懸造」の構造で建てられた

木造・入母屋造り・銅板葺きの社殿。社を支える柱がなく、岩盤の絶壁から突き出した3本の水平材（方持ち梁）の上に載せ、テコの原理により建物全体の荷重で支えている。807年に創建したとされるが、1847年の善光寺地震により崩壊し1861年に再建。1961年に行われた大改修工事の末、現在の社殿が再建された。2018年に市指定有形文化財となった。

ブランド薬師を建築の視点で研究する信州大学大学院の柳内斉彬氏は、社の構造や度重なる修復工事の痕跡から見えてくる当時の建築技法について参加者に説明。「懸造建築の遺構は全国で有名な例が存在するが、他に類似例がない八蘆神社は非常に価値がある」と話した。

相原先生は、地元自治会と発行したブランド薬師と十三仏に関する冊子を資料に、1861年の社殿再建に合わせて新しくつくられた十三仏の由来などについて参加者と巡りながら解説した。

この日の研修会は、八蘆神社保存会の宮澤重徳会長をはじめ、地元浅川地区住民自治協議会の協力を得て実現。保存会の活動を広くPRしようと、地元ケーブルテレビなども見学会の様子を取材に訪れた。



八蘆神社社殿

## 令和2年度 第2回研修会 【ブランド薬師八蘆神社と 十三仏』見学】

令和2年9月26日

講師：信州名匠会会長 土本俊和氏、  
信州名匠会顧問 相原文哉先生

参加者：33名

### テコの原理により建物全体の荷重で支える「懸造」

9月26日、今年度第2回目の研修会を長野市で開いた。土本俊和会長とともに研究を進める信州大学の大学院生



「懸造」について説明する柳内斉彬氏



十三仏について説明する相原先生



コロナ対策で全員がインカムで話を聞いた